

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 トーカロ株式会社

コード番号 3433 URL <http://www.tocalo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 町垣 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 木村 一郎

TEL (078)411-5561(代)

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	13,157	△26.6	1,266	△53.7	1,392	△50.1	829	△47.9
21年3月期第3四半期	17,925	—	2,734	—	2,792	—	1,592	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	54.59	—
21年3月期第3四半期	102.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	24,426	17,377	71.1	1,143.33
21年3月期	25,679	17,055	66.4	1,122.13

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 17,377百万円 21年3月期 17,055百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	22.50	—	22.50	45.00
22年3月期	—	12.50	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,450	△18.3	1,736	△34.2	1,700	△37.2	1,000	△32.0	65.79

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務情報等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年3月期第3四半期	15,800,000株	21年3月期	15,800,000株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	600,819株	21年3月期	600,819株
-----------	-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	22年3月期第3四半期	15,199,181株	21年3月期第3四半期	15,490,016株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関連する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで、以下「当第3四半期」という。)におけるわが国経済については、リーマン・ショック後の世界的な金融危機に対処するため、日・米・欧はじめ主要各国が実施した大規模な景気対策による世界経済の回復基調をうけ、昨年12月の輸出額が15ヶ月ぶりに前年比で増加するなど、輸出・生産の増加から企業収益の悪化には歯止めがかかり改善しつつあります。一方、厳しい雇用情勢のなか、景気対策の効果が未知数であること、物価からみても緩やかなデフレ状況にあること等から、実体経済は依然として先行き不透明な状況にあります。企業収益の改善が設備投資や雇用拡大に波及するまでには時間を要するとみられ、先行きについては、なお厳しい事業環境が続くと見込まれます。

その中であって、当社の主要部門である半導体・液晶製造装置業界では、半導体価格の上昇や内外の景気刺激策を受けての液晶パネル需要の増加などから、回復傾向にあります。その他産業界は、依然として厳しい業績を反映して引き続き設備投資を圧縮しており、需要低迷が継続しております。

このような状況のもと、当第3四半期における当社グループの連結業績につきましては、売上高が前年同四半期比47億67百万円(26.6%)減の131億57百万円、営業利益が前年同四半期比14億68百万円(53.7%)減の12億66百万円、経常利益が前年同四半期比14億0百万円(50.1%)減の13億92百万円、四半期純利益が前年同四半期比7億62百万円(47.9%)減の8億29百万円となりました。

溶射加工部門では、半導体・液晶分野向けをはじめ各分野向けの売上が低迷していることから、当部門の売上高は前年同四半期比38億84百万円(25.9%)減の110億95百万円となりました。溶射加工以外の周辺加工部門では、自動車関連業界の需要落ち込みの影響を受けたPVD処理加工が大きく減少したことなどにより、周辺加工部門全体の売上高は前年同四半期比8億83百万円(30.0%)減の20億61百万円となりました。

また、収益面につきましては、全社あげてのコスト削減に努めたものの、半導体・液晶分野を中心に溶射加工の大幅な売上減少などから、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに、前年同期比で大幅な減益となっております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は244億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億53百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少などで流動資産が6億71百万円減少し、機械装置及び運搬具等の有形固定資産の減少などで固定資産が5億82百万円減少したことによるものであります。

一方、負債は70億48百万円と前連結会計年度末比15億75百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金、賞与引当金等の減少などで流動負債が9億79百万円減少し、長期借入金の減少などで固定負債が5億95百万円減少したことによるものであります。

また、当第3四半期連結会計期間末における純資産は173億77百万円と前連結会計年度末比3億22百万円増加いたしました。これは主に、剰余金の配当5億31百万円、当第3四半期連結累計期間における四半期純利益の計上8億29百万円により、利益剰余金が2億97百万円増加したことによるものであります。この結果、当第3四半期連結会計期間末の1株当たり純資産額は1,143円33銭(前連結会計年度末比21円20銭の増加)、自己資本比率は71.1%(前連結会計年度末比4.7ポイントの上昇)となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年4月30日発表の通期の業績予想に変更はありません。今後の情報収集等により、見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(簡便な会計処理)

・ 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

・ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,359,564	4,077,569
受取手形及び売掛金	6,963,011	6,785,497
仕掛品	314,759	276,840
原材料及び貯蔵品	687,938	881,295
その他	508,087	483,382
貸倒引当金	△6,189	△6,280
流動資産合計	11,827,171	12,498,305
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,955,375	4,558,233
機械装置及び運搬具（純額）	2,697,631	3,379,811
土地	2,952,041	2,952,041
その他（純額）	710,905	997,192
有形固定資産合計	11,315,954	11,887,280
無形固定資産		
のれん	—	49,113
その他	370,814	374,006
無形固定資産合計	370,814	423,120
投資その他の資産	912,061	870,833
固定資産合計	12,598,830	13,181,233
資産合計	24,426,002	25,679,539

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,168,419	2,293,652
短期借入金	—	400,000
1年内返済予定の長期借入金	772,400	626,400
未払法人税等	8,545	234,357
賞与引当金	270,625	546,178
その他	1,707,328	1,806,676
流動負債合計	4,927,319	5,907,264
固定負債		
長期借入金	666,400	1,282,200
退職給付引当金	898,255	1,037,109
その他	556,339	397,474
固定負債合計	2,120,994	2,716,784
負債合計	7,048,313	8,624,049
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,658,823	2,658,823
資本剰余金	2,293,504	2,293,504
利益剰余金	13,203,388	12,905,646
自己株式	△772,971	△772,971
株主資本合計	17,382,744	17,085,002
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,056	△29,512
評価・換算差額等合計	△5,056	△29,512
純資産合計	17,377,688	17,055,489
負債純資産合計	24,426,002	25,679,539

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	17,925,126	13,157,160
売上原価	12,339,055	9,388,858
売上総利益	5,586,071	3,768,301
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	202,289	135,591
貸倒引当金繰入額	7,695	2,950
役員報酬	177,393	161,091
人件費	1,098,964	1,009,137
賞与引当金繰入額	94,384	83,629
退職給付引当金繰入額	28,151	29,790
旅費交通費及び通信費	197,011	160,705
減価償却費	37,977	60,039
のれん償却額	73,669	49,113
研究開発費	476,780	394,585
その他	457,166	415,640
販売費及び一般管理費合計	2,851,483	2,502,274
営業利益	2,734,587	1,266,026
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,218	5,815
受取ロイヤリティー	24,516	23,661
受取技術料	10,202	35,550
補助金収入		58,463
スクラップ売却益	26,791	
その他	20,804	33,733
営業外収益合計	87,533	157,224
営業外費用		
支払利息	16,481	18,775
支払手数料	7,096	5,290
その他	6,023	6,863
営業外費用合計	29,601	30,929
経常利益	2,792,519	1,392,321
特別利益		
保険解約返戻金	—	23,922
特別利益合計	—	23,922
特別損失		
固定資産除売却損	72,832	9,540
ゴルフ会員権評価損	4,305	—
子会社工場建設中止損	29,049	—
特別損失合計	106,187	9,540
税金等調整前四半期純利益	2,686,331	1,406,702
法人税、住民税及び事業税	935,004	312,531
法人税等調整額	158,661	264,457
法人税等合計	1,093,665	576,989
四半期純利益	1,592,665	829,713

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,686,331	1,406,702
減価償却費	1,726,403	1,467,262
のれん償却額	73,669	49,113
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△272,401	△275,552
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△144,275	△138,854
受取利息及び受取配当金	△5,218	△5,815
支払利息	16,481	18,775
固定資産除売却損益 (△は益)	72,832	9,540
保険解約損益 (△は益)	—	△23,922
ゴルフ会員権評価損	4,305	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,211,041	△177,513
たな卸資産の増減額 (△は増加)	29,238	155,437
仕入債務の増減額 (△は減少)	650,153	△125,232
未払費用の増減額 (△は減少)	109,852	16,976
その他	123,703	△47,769
小計	3,860,035	2,329,148
利息及び配当金の受取額	5,166	5,690
利息の支払額	△18,197	△20,837
法人税等の支払額	△1,457,581	△790,509
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,389,422	1,523,492
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△500,000
有形固定資産の取得による支出	△850,926	△754,173
有形固定資産の売却による収入	1,000	1,109
無形固定資産の取得による支出	△14,112	△10,567
投資有価証券の取得による支出	△109,029	△2,835
保険積立金の解約による収入	—	14,251
その他	18,908	5,590
投資活動によるキャッシュ・フロー	△954,161	△1,246,625
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	900,000	△400,000
長期借入金の返済による支出	△319,800	△469,800
配当金の支払額	△695,195	△528,281
自己株式の取得による支出	△389,922	—
その他	△48,484	△96,377
財務活動によるキャッシュ・フロー	△553,403	△1,494,459
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20	△413
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	881,837	△1,218,005
現金及び現金同等物の期首残高	2,539,888	4,077,569
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,421,725	2,859,564

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

部 門	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	比較増減	
	生産高(千円)	生産高(千円)	金額(千円)	増減率 (%)
溶射加工	14,980,595	11,095,951	△ 3,884,644	△ 25.9
半導体・液晶製造用部品 への加工	4,956,652	3,143,407	△ 1,813,244	△ 36.6
産業機械用部品への加工	3,656,385	3,192,380	△ 464,005	△ 12.7
鉄鋼用設備部品への加工	2,570,604	1,683,032	△ 887,571	△ 34.5
その他	3,796,954	3,077,130	△ 719,823	△ 19.0
T D処理加工	657,328	478,858	△ 178,470	△ 27.2
Z A Cコーティング加工	493,018	462,348	△ 30,670	△ 6.2
P T A処理加工	386,231	341,758	△ 44,473	△ 11.5
P V D処理加工	1,407,952	778,244	△ 629,708	△ 44.7
合 計	17,925,126	13,157,160	△ 4,767,966	△ 26.6

(注) 上記の金額は、販売価格(税抜き)によっております。

② 受注状況

(受注高)

部 門	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	比較増減	
	受注高(千円)	受注高(千円)	金額(千円)	増減率 (%)
溶射加工	15,010,810	11,312,773	△ 3,698,037	△ 24.6
半導体・液晶製造用部品 への加工	4,859,302	3,409,593	△ 1,449,709	△ 29.8
産業機械用部品への加工	3,649,091	3,212,464	△ 436,626	△ 12.0
鉄鋼用設備部品への加工	2,718,177	1,587,816	△ 1,130,361	△ 41.6
その他	3,784,239	3,102,899	△ 681,339	△ 18.0
T D処理加工	651,216	479,010	△ 172,205	△ 26.4
Z A Cコーティング加工	504,799	496,923	△ 7,875	△ 1.6
P T A処理加工	449,205	320,648	△ 128,557	△ 28.6
P V D処理加工	1,399,731	783,212	△ 616,518	△ 44.0
合 計	18,015,763	13,392,568	△ 4,623,194	△ 25.7

(注) 上記の金額は、販売価格(税抜き)によっております。

(受注残高)

部 門	前第3四半期 連結会計期間末 (平成20年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (平成21年12月31日)	比較増減	
	受注残高(千円)	受注残高(千円)	金額(千円)	増減率 (%)
溶射加工	1,890,133	1,340,773	△ 549,360	△ 29.1
半導体・液晶製造用部品 への加工	479,490	491,326	11,836	+ 2.5
産業機械用部品への加工	370,447	289,087	△ 81,359	△ 22.0
鉄鋼用設備部品への加工	552,757	242,435	△ 310,322	△ 56.1
その他	487,438	317,923	△ 169,515	△ 34.8
T D 処理加工	25,261	17,406	△ 7,855	△ 31.1
Z A C コーティング加工	71,226	88,574	17,347	+ 24.4
P T A 処理加工	139,843	89,095	△ 50,748	△ 36.3
P V D 処理加工	9,244	13,838	4,594	+ 49.7
合 計	2,135,710	1,549,688	△ 586,021	△ 27.4

(注) 上記の金額は、販売価格(税抜き)によっております。

③ 販売実績

部 門	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	比較増減	
	販売高(千円)	販売高(千円)	金額(千円)	増減率 (%)
溶射加工	14,980,595	11,095,951	△ 3,884,644	△ 25.9
半導体・液晶製造用部品 への加工	4,956,652	3,143,407	△ 1,813,244	△ 36.6
産業機械用部品への加工	3,656,385	3,192,380	△ 464,005	△ 12.7
鉄鋼用設備部品への加工	2,570,604	1,683,032	△ 887,571	△ 34.5
その他	3,796,954	3,077,130	△ 719,823	△ 19.0
T D 処理加工	657,328	478,858	△ 178,470	△ 27.2
Z A C コーティング加工	493,018	462,348	△ 30,670	△ 6.2
P T A 処理加工	386,231	341,758	△ 44,473	△ 11.5
P V D 処理加工	1,407,952	778,244	△ 629,708	△ 44.7
合 計	17,925,126	13,157,160	△ 4,767,966	△ 26.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

以 上